

2023 年度事業報告について

I 2023 年度活動総括

2020 中期運営計画の最終年にあたる 2023 年度は、新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月に 5 類感染症に指定されたことを契機に、コロナ禍での自粛が緩和され、多くの人々が外出し交流を楽しむ姿が見られるなど、生活や経済活動が急速に正常化へ向かった。ショッピングセンター(以下、SC)への来館者も増加し、SCの年間売上高は 2019 年比で 96%まで回復した。

当協会においても、3 年半ぶりに実施した海外視察研修ツアーには予想を上回る参加者が集まり、SC ビジネスフェアも出展者や来場者数が前年を上回った。SC 接客ロールプレイングコンテストでは、声を出しての応援が可能となり活気を見せた。

一方、SCにおいては、経済活動の再開とともに顕在化した人手不足や、コロナ禍で急速に変化した生活様式や行動様式への適応など、これまでのSC運営では解決が困難な課題に直面した。

このような状況を踏まえ、当協会では、ウェルビーイング視点での人材確保の研究を行い、その結果を月刊誌「人手不足対策特集」で最新事例とともに発信した。また、各SCにおけるES宣言のさらなる実行に向けて、ディベロッパーとテナントの意見交換会を立ち上げて議論を行ったほか、国に対してはパート従業員や外国人人材の採用拡大のための要望を行った。

急速に変容するSCのビジネス環境への対応を促進するために、SCの未来を創造するビジネスコンテスト「チャレンジピッチ 2024 ～NEXT SC～」を、昨年度に引き続き開催した。

協会創立 50 周年事業の一環として、SC経営士会の協力のもと、「SCの未来像」について考えるセミナーを全国の支部で開催するなど、未来に向けた新たなSCづくりに寄与する取り組みを行った。さらに、5 月に記念式典を開催し功労者表彰を行うとともに、記念媒体として「記念写真集」「記念特設サイト」を制作したほか、月刊誌(5～12 月号)にて記念コンテンツを掲載した。

2023 年度は、これらの取り組みを通じて会員価値の向上に努め、2023 年度末の会員数は昨年度末の 919 社から 4 社増えて、923 社となった。

Ⅱ 会議

1. 総会

【2023 年度実績】 第 51 回定期総会(2023 年 5 月 23 日)

2. 理事会

【2023 年度実績】 第 1 回理事会(2023 年 4 月 26 日)
第 2 回理事会(2023 年 5 月 23 日)
第 3 回理事会(2023 年 10 月 25 日)

3. 企画会議

【2023 年度実績】 第 1 回企画会議(2023 年 10 月 11 日)
第 2 回企画会議(2024 年 3 月 26 日)

Ⅲ 支部活動報告

支部名	2023 年度活動報告
北海道支部	<p>(1) 支部総会&懇親会(2024年3月8日)</p> <p>①支部総会(JRタワーオフィスプラザ札幌サンスカイルーム札幌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度北海道支部活動計画(案) ・2024年度北海道支部収支予算(案) ・支部会員増強への取り組みについて <p>②懇親会(札幌ステラプレイス)</p> <p>(2) 運営委員会</p> <p>①第1回運営委員会(7月5日・JRタワーオフィスプラザ札幌サンスカイルーム札幌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画およびスケジュール ・協会創立50周年記念支部セミナー企画(案)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会について <p>②第2回運営委員会(11月30日・新さっぽろアーグシティホテル会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度北海道支部総会について <p>(3) 協会創立50周年記念事業(SC経営士会協力)(11月30日・新さっぽろアーグシティホテル)</p> <p>参加者102名</p> <p>【第1单元】<SC経営士会によるSCの未来像についての研究成果とその成果発表></p> <p>講師:SC経営士会 会長 藤木 光広氏(イオンモール(株)専務取締役)</p> <p>【第2单元】<パネルディスカッション></p> <p>「次世代SCの人材育成～「SC道場」の取り組み」</p> <p>パネリスト:松井 歩氏(SC経営士会 北海道副ブロック長 札幌駅総合開発(株)取締役営業本部副本部長 兼 販売促進部長)</p> <p>五十嵐勇人氏(SC経営士会 北海道ブロック運営委員 札幌駅総合開発(株)JRタワー再整備推進本部再開発企画部副部長)</p> <p>菊田 徳昭氏(SC経営士 三菱地所プロパティマネジメント(株) 横浜支店 横浜商業運営室 MARK IS みなとみらい館長)</p> <p>コーディネーター:西内 敦久氏(SC経営士会 北海道ブロック長 (株)札幌副都心開発公社 常務取締役)</p> <p>【第3单元】<交流会></p> <p>(4) SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会</p> <p>10月12日(木) 新さっぽろアーグシティホテル</p> <p>食品・飲食・サービス部門 2名、ファッション・物販部門 16名 計18名出場</p>
東北支部	<p>(1) 支部総会(2024年2月29日・ホテルメトロポリタン仙台4階「千代」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度東北支部活動計画(案) ・2024年度東北支部収支予算(案) ・支部会員増強への取り組みについて <p>(2) 運営委員会</p> <p>①第1回運営委員会(7月13日・ホテルメトロポリタン仙台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 東北支部総会および運営委員会の日程について ・協会創立50周年記念 支部セミナー企画(案)について ・春の研修会・懇親会(支部総会と同時開催)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会について <p>②第2回運営委員会(12月6日・ホテルメトロポリタン仙台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度東北支部総会について

<p>東北支部</p>	<p>(3) 研修会</p> <p>① 協会創立 50 周年記念支部セミナー (SC 経営士会協力) (12 月 6 日・ホテルメトロポリタン仙台) テーマ: ショッピングセンターの未来像について考える</p> <p>【第 1 単元】 『アフターコロナを見据えたショッピングセンターの未来像』 講師: 三輪 美恵 氏 (SC 経営士会副会長 株式会社 JT B 常務執行役員)</p> <p>【第 2 単元】 『未来の SC への新たな挑戦』パネルディスカッション & クロストーク パネリスト: 佐藤 啓央 氏 (SC 経営士 仙台ターミナルビル株式会社 戦略推進部 イノベーション戦略 G マネージャー) 嘉藤 明美 氏 (SC 協会理事 東北支部運営委員 株式会社 鐘崎 代表取締役社長) 野木 正徳 氏 (SC 経営士 株式会社 日和田ショッピングモール 代表取締役社長) 坂本 賢治 氏 (五所川原街づくり株式会社 取締役営業本部長)</p> <p>コーディネーター: 小原 能和 氏 (SC 経営士会東北ブロック長 SCL 代表 日本販売士協会理事) 聴講者数: 53 名</p> <p>【交流会】</p> <p>② 研修会 (2024 年 2 月 29 日・ホテルメトロポリタン仙台 4 階「千代」) ※ 支部総会後に開催 テーマ: 2024 失敗から学ぶ 講師: 仙台育英学園高等学校 野球部監督 須江 航 氏 聴講者数: 45 名</p> <p>(4) SC 接客ロールプレイングコンテスト東北大会 10 月 31 日 (火) ホテルメトロポリタン仙台 食品・飲食・サービス部門 11 名、ファッション・物販部門 28 名 計 39 名出場</p>
<p>関東・甲信越 支部</p>	<p>(1) 支部総会 (2024 年 3 月 5 日・協会会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度関東・甲信越支部活動計画(案) ・2024 年度関東・甲信越支部収支予算(案) ・支部会員増強への取り組みについて <p>(2) 運営委員会</p> <p>① 第 1 回運営委員会 (8 月 1 日・協会会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度 関東・甲信越支部活動スケジュール ・研修会の開催について ・SC 接客ロールプレイングコンテスト東京大会 / 関東・甲信越大会について ・入会促進ご協力をお願い <p>② 第 2 回運営委員会 (11 月 14 日・協会会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度関東・甲信越支部総会について ・各 SC における防災対策について ・入会促進のお願いについて <p>(3) 研修会</p> <p>① 第 1 回研修会 (6 月 28 日・協会会議室 & オンライン)</p> <p>テーマ: 受賞者に聞く! 私のロールプレイングコンテスト物語 ～交流会・トークセッション～</p> <p>参加者 47 名 (会場 11 名、オンライン 36 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者情報交換会 ※ 協会会議室聴講者のみ ・受賞者トークセッション・質疑応答

関東・甲信越 支部	<p>講師：(株)ジンズ 伊藤 二三 氏（第27回SC接客ロールプレイングコンテスト大賞SC接客日本一および経済産業大臣賞） (株)ルピシア 松山 俊介 氏（第28回SC接客ロールプレイングコンテスト食品・飲食・サービス部門優勝）</p> <p>②協会創立50周年記念セミナー(SC経営士会協力)&交流会 (12月8日・TKP市ヶ谷カンファレンスセンター) テーマ:ショッピングセンターの未来像について考える 参加者 93名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【第1単元】アフターコロナを見据えたショッピングセンターの未来像 講師:(株)サンポップ 専務取締役 松野 宏 氏(SC経営士会副会長) ・【第2単元】パネルディスカッション「関わりの切り口を増やすこれからのSC」 パネリスト:(株)船場 執行役員 クライアントオフィサー 加藤 麻希 氏 (SC協会関東・甲信越支部運営委員) (株)ブレンアンドパートナー 代表取締役 和田 剛 氏 (SC協会関東・甲信越支部運営委員、全国大会実行委員会副委員長) (株)ジェイアール東日本企画 駅消費研究センター研究員 松本 阿礼 氏 (未来の商業施設ラボプロジェクトメンバー) 東日本旅客鉄道(株) マーケティング本部 まちづくり部門 開発戦略ユニット マネージャー 永富 宣治 氏 (SC経営士会 関東・甲信越副ブロック長) <p>コーディネーター:三井不動産(株) 商業施設本部 商業施設営業二部 営業グループ 統括 西本 宏永 氏(SC経営士会副会長 関東・甲信越ブロック長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会 <p>③支部総会&研修会(2024年3月5日・協会会議室&オンライン) テーマ:都心SCにおける営業時間・休館日改革 参加者 71名(会場 51名、オンライン 20名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 都心SCにおける営業時間・休館日改革～新宿ミロードを事例に～ 講師:(株)小田急SCディベロップメント 新宿南口営業室 副支配人 前田 貴男 氏 ・懇親会 <p>(4)単館SC研究会</p> <p>①第40回(7月4日・協会会議室&オンライン) 参加者 33名(会場 29名、オンライン 4名) 内 容:・イベント企画・運営企業によるプレゼンテーション ・アイネスフクヤマの「アイネスイルミ」紹介 ・参加者による意見交換会 ・懇親会</p> <p>②第41回(10月26日・府中市民活動センタープラッツ会議室) 参加者 31名 内 容:・施設見学会 ・バックヤードツアー(「くるる」「ミッテン府中」「フォーリス」) ・「(株)ヤオコー」によるプレゼンテーションおよび質疑応答 ・参加者による意見交換会 ・懇親会</p> <p>③ビジネスフェア主催者企画セミナー(2024年1月25日・パシフィコ横浜 展示ホール) 参加者約 170名 テーマ:単館SCの未来について考える パネリスト:(株)アスタ西東京 営業部長 府川 啓介 氏 (株)福井ショッピングモール 専務理事 佐々木 国雄 氏 (株)横浜都市みらい 営業部長・リーシング事業部長 稲垣 裕一 氏 コーディネーター:(株)フォルマ 代表取締役社長 田中 篤也 氏(単館SC研究会 座長)</p> <p>④第42回(2024年3月28日・貸教室・貸会議室内海) 参加者:73名(単館SC研究会 35名、PRC情報研究会 38名)</p>
--------------	---

<p>関東・甲信越 支部</p>	<p>内 容:・電気代適正化のためのプレゼンテーション ・第2回「PRC 情報研究会」との合同勉強会 (自SCのテナント募集情報、テナントの出店交渉のツボ) ・懇親会</p> <p>(5)SC接客ロールプレイングコンテスト東京大会／関東・甲信越大会 ①東京大会 (10月2日～6日・ムーブホール(サンポップマチャ)) 出場者 140名 ②関東・甲信越大会 (11月27日～30日、12月1日、4日・IMAホール(光が丘 IMA)) 出場者 247名</p>
<p>中部支部</p>	<p>(1)支部総会(2024年3月22日・AP名古屋) ・2023年度 中部支部活動報告・決算見込み ・2024年度 中部支部活動計画・予算(案)他</p> <p>(2)運営委員会 ①第1回運営委員会(7月24日・AP名古屋) ・2023年度 事業計画およびスケジュール ・協会創立50周年記念 支部セミナー企画(案)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会の運営について ・支部総会の講演会について ②第2回運営委員会(12月1日・AP名古屋) ・2023年度第3回運営委員会&支部総会の開催について</p> <p>(3)SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会 (9月20日～22日・JRゲートタワーカンファレンス) 出場者 112名</p> <p>(4)支部主催セミナー&懇親会 ①協会創立50周年記念支部セミナー(SC経営士会協力)(12月1日・AP名古屋) 参加者 90名 【第1单元】<SC経営士会研鑽研究Gによる研究成果発表> 「アフターコロナを見据えたショッピングセンターの未来像」 講師:SC経営士会会長 藤木 光広氏(イオンモール(株) 専務取締役) 【第2单元】<パネルディスカッション&クロストーク> 「新静岡セノバ:人材不足時代のSC運営 セノバの次の一手」 「東山遊園:地域と共に育つSC～星が丘テラスと多様な地域連携」 「大和リース:パークPFIによるまちづくり～鞍ヶ池公園」 パネリスト: 佐藤 壽康氏(静鉄プロパティマネジメント(株) 常務取締役 セノバ事業部長) 岩本 利達氏(東山遊園(株) 星が丘テラス営業部 /SC経営士) 鈴木 浩介氏(大和リース(株) 静岡支社営業所長 /SC経営士) コーディネーター:SC経営士会 中部ブロック長 岡田 拓也氏(株)シティライツ代表取締役) サブコーディネーター:SC経営士会 中部副ブロック長 神谷 純氏(イオンモール(株)) ②記念講演会(2024年3月22日・AP名古屋) 参加者 77名 「VISION が挑む地域活性化と地方創生～すべては、いのちを喜ばせるために～」 講師:ヴィソン多気株式会社 代表取締役 立花 哲也氏</p>

<p>近畿支部</p>	<p>(1) 支部総会(2024年3月12日・ホテルヴィスキオ尼崎) ・2023年度事業報告・収支見込み ・2024年度事業計画・予算(案) 他</p> <p>(2) 運営委員会 ①第1回(7月20日・梅田北プレイス) ・2023年度近畿支部活動スケジュール ・協会創立50周年記念 支部セミナー企画(案)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会の運営について ②第2回(12月13日・ホテルヴィスキオ尼崎) ・2023年度近畿支部総会およびSCフォーラムについて</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月17日～20日・ホテル京阪京橋) 出場者 137名</p> <p>(4) 支部主催セミナー&懇親会 ①協会創立50周年記念支部セミナー(SC経営士会協力)(12月13日・ホテルヴィスキオ尼崎) 参加者 70名 【第1単元】<SC経営士会によるSCの未来像についての研究成果とその成果発表> 講師:SC経営士会 研究・研鑽グループ長 佐久間 達也 氏 (イオンモール(株) デジタル推進統括部 デジタルマーケティング部 部長) 【第2単元】<パネルディスカッション> 「SCにおける官民連携と地方創成事業の実践」 パネリスト:(株)関西都市居住サービス エコール・リラ営業所所長 服部 宏行 氏 (株)セブン&アイ・クリエイティング セブンパーク天美 支配人 秋本 和宏 氏 (株)近鉄百貨店 営業政策本部 リーシング部 部長 堺 至暢 氏 グンゼ開発(株) ショッピングセンター事業部 つかしん事業所 マネージャー 吉田 貴弘 氏 コーディネーター:SC 経営士会近畿ブロック運営委員 池澤 威郎 氏 (阪南大学流通学部 准教授)</p> <p>②SCフォーラム(2024年3月12日・ホテルヴィスキオ尼崎) 「これからのマーケットを見据え、価値を高めるポルタの戦略 ～ご来店者様と協業した新たな価値創造～」 参加者:48名 代表者ご挨拶: JR 西日本京都SC開発(株) 代表取締役社長 森本 卓壽 氏 講師: JR 西日本京都SC開発(株) 常務取締役営業本部長 藪 章代 氏</p> <p>(5) SC研究推進委員会 ①第1回SC研究推進委員会会議(5月31日:JR 西日本SC開発(株) 9階研修室) ②第2回SC研究推進委員会会議(7月20日:梅田北プレイス 4階「サード・プレイス弥生」) ③第3回SC研究推進委員会会議(11月30日:JR 西日本SC開発(株) 9階研修室) ④第4回SC研究推進委員会会議(2024年2月27日:天王寺ミオ本館 12階 ミオホール)</p> <p>(6) SC研究会 ①第1回セミナー(9月22日・梅田北プレイス/参加者:58名) テーマ:SCの官民連携・地域連携の現状 -事例研究- 講師:(株)アルテリア 常務取締役 加藤 晃 氏 (株)アルテリア サブディレクター 小池 里奈 氏 司会: SC研究会座長(未来SC研究所 主宰) 山田 宗司 氏 ②東北視察会(11月1日～3日:江釣子 PAL・ELMならびに周辺SC/参加者:6名) ③第2回セミナー(2024年2月27日・天王寺ミオ本館 12階 ミオホール/参加者:50名) テーマ:中近郊立地のコミュニティ型 SCの可能性を探る</p>
-------------	--

近畿支部	<p>講師:大和リース(株) 流通建築リース事業部 SC運営部 部長 福来 俊也 氏 大和リース(株) 流通建築リース事業部 SC運営部 西日本リーシング室 室長 田中 沙耶香 氏 JR 西日本アーバン開発(株) 開発戦略部 担当部長 松原 友紀 氏 司会:SC研究推進委員会 座長(未来SC研究所 主宰) 山田 宗司 氏</p>
中国・四国支部	<p>(1)支部総会(2024年3月21日・ホテルグランヴィア岡山 4階 フェニックス) ・2023年度中国・四国支部活動報告 ・2023年度中国・四国支部管内入退会報告 ・2023年度中国・四国支部収支決算(見込) ・2024年度中国・四国支部活動計画(案) ・2024年度中国・四国支部収支予算(案)</p> <p>(2)運営委員会 ①第1回運営委員会(7月6日・中国SC開発(株) 会議室) ・2023年度事業計画およびスケジュール ・協会創立50周年記念 支部セミナー企画(案)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会の運営について ②第2回運営委員会(12月8日・山陽SC開発(株) 会議室) ・2023年度中国・四国支部総会について</p> <p>(3)視察・セミナー ①SC経営士会中国・四国ブロック協力「ひろしまゲートパーク視察」 (7月6日・中国SC開発(株)会議室および現地/参加者:31名) 講師:NTT都市開発(株) 中国支店 広島プロジェクト推進室 担当課長 桑原 誠 氏 ②「日本ショッピングセンター協会創立50周年記念セミナー」(SC経営士会協力) (12月8日・山陽SC開発(株)・会議室/参加者:17名) ・第一単元:『アフターコロナを見据えたショッピングセンターの未来像』 講師 SC経営士会 会長 藤木 光広 氏 (イオンモール(株) 専務取締役) ・第二単元:『SCに求められる地域課題解決のソリューション』(パネルディスカッション) パネリスト 中国SC開発(株) 代表取締役社長 竹中 靖 氏 下関商業開発(株) 代表取締役社長 波田 兼昭 氏 山陽SC開発(株) 代表取締役社長 福田 知明 氏 イオンモール(株) 専務取締役 藤木 光広 氏 コーディネーター 四国旅客鉄道(株) 事業開発本部 担当部長 井門 誠治 氏 (SC経営士会 中国・四国ブロック長)</p> <p>・懇親会</p> <p>③支部総会記念講演&懇親会 (2024年3月21日・ホテルグランヴィア岡山 4階フェニックス/記念講演:38名・懇親会 21名) ・テーマ『地域における共創の可能性』 講師 広島県公立大学法人 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 教授、産学官連携・研究推進センター長 同法人 県立広島大学 大学院 経営管理研究科 教授 早田 吉伸 氏</p> <p>(4)第29回SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 ・開催日程:11月16日(木)・17日(金) ・会場:おかやま未来ホール(イオンモール岡山) ・出場者数:ファッション・物販 44名、食品・飲食・サービス 19名 計63名</p>

九州・沖縄 支部	<p>(1) 支部総会(2024年3月18日・長崎マリオットホテル カンファレンスルーム) ①2024年度九州・沖縄支部活動計画(案) ②2024年度九州・沖縄支部収支予算(案)</p> <p>(2) 運営委員会 ①第1回運営委員会(7月14日・ソラリアステージ 会議室) ・2023年度九州・沖縄支部活動スケジュール ・協会創立50周年記念事業セミナー(SC経営士会協力)について ・SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会について ②第2回運営委員会(10月13日・博多国際展示場&カンファレンスセンター 会議室) ・2023年度九州・沖縄支部総会について ・春の視察・研修会・懇親会(案)について ・2024年度の活動計画(案)について</p> <p>(3) 協会創立50周年記念事業セミナー(SC経営士会協力) (10月13日・博多国際展示場&カンファレンスセンター 会議室) 参加人数:セミナーのみ 22名、セミナー+交流会 57名 ①セミナー 【第1単元】「アフターコロナを見据えたショッピングセンターの未来像」 講師:藤木 光広 氏(SC経営士会会長、イオンモール(株) 専務取締役) 【第2単元】パネルディスカッション『ミライのSC』 パネリスト: 尾藤 勝 氏(九州・沖縄支部運営委員、SC経営士会九州・沖縄ブロック副ブロック長、JPビルマネジメント(株) 博多営業所 所長 兼 KITTE 博多 館長) 足立 綾子 氏(SC経営士、(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス 企画部長) 朝長 和美 氏(SC経営士、JR九州駅ビルホールディングス(株) 営業戦略部 担当部長) 村田 大輔 氏(SC経営士、西日本鉄道(株) 天神開発本部 福ビル街区開発部 課長) コーディネーター: 安丸 勝晃 氏(SC経営士会九州・沖縄ブロック長、西日本鉄道(株) 都市開発事業本部 営業部 営業統括担当 課長)</p> <p>②交流会</p> <p>(4) 視察研修会&懇親会(2024年3月18日・アミュプラザ長崎新館) 参加人数:視察のみ 13名、視察+懇親会 50名 ・施設概要説明 ・バックヤード見学付き館内視察 ・自由視察 ・懇親会</p> <p>(5) SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会 9月28日・29日 JR九州ホール ファッション・物販部門 48名、食品・飲食・サービス部門 18名、計66名出場</p>
-------------	---

IV 委員会活動報告

1. 総務・会員委員会

2023 年度 活動総括

総務・会員委員会では、主に次の項目について活動を行った。

- (1) 会員サービスの向上に努め、会員数 930 社とすること
- (2) 人材確保対策への取り組みの推進
- (3) 2020 中期経営計画(2020～2023 年度)の総括
- (4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握および総合調整
- (5) 2023 年度予算管理の徹底
- (6) 創立 50 周年記念事業の推進
- (7) 会員相互のネットワーク構築支援
- (8) 公共政策ワーキングの設置と公共政策に関する情報収集、税制等の各種要望・周知活動の実施
- (9) 環境ワーキングの設置と新たな環境目標の設定
- (10) 日本 SC 大賞・地域貢献大賞ワーキンググループの設置と次回の実施要綱の検討

【1】会員募集について

今年度は、第一種正会員 9 社(4 社)、第二種正会員 15 社(11 社)、賛助会員 42 社(41 社)の入会を得た〔()内は 2022 年度実績〕。理事や各支部、専門委員会委員の紹介による入会が多い。SC 業界の情報収集やネットワーク構築・拡大が主な入会理由である。第一種正会員では、5 社が首都圏以外に本社を置き、かつ単館 SC を管理運営する企業であった。第二種正会員では、全国展開するアパレルや宝飾品を扱うテナントなどが入会した。また、SC ビジネスフェアの出演に伴う入会も見られた。賛助会員は、業務効率化システム系の企業が入会した。

入会の問い合わせでは、人材派遣サービス(外国人紹介含む)、イベント企画・代行など近年の SC の特徴である「体験型」「エンターテインメント」、人手不足など課題解決の一助となるような企業からの問い合わせが目立った。

入会勧誘施策については、「SC ビジネスフェア 2024」の来場者登録時に、協会案内の希望有無をうかがったところ、「ビジネスフェア会期中を希望」と答えた法人・個人が 47 件、学生が 4 件、「会期外を希望」と答えたのは法人・個人が 63 件であった。これによりビジネスフェア会期中に案内を行ったのは 3 社だったが、会期中の新規対応と合わせると、案内件数は 15 件であった。

新入会企業については、月刊誌「SC JAPAN TODAY」の 2024 年 1・2 月号および 3 月号で企業 PR を掲載した(1・2 月号は 29 社、3 月号は 17 社)。また、この月刊誌誌面を利用して、SC ビジネスフェア会場や各支部総会で配布を行った。

これらの施策を通じて、入会勧誘促進と新入会企業紹介に努めた。

入退会数(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

会員種別	2022 年度末	2023 年度			
		入会	退会	期末	増減
第一種正会員(ディベロッパー)	300	9	12	297	-3
第二種正会員(テナント)	263	15	19	259	-4
賛助会員	356	42	31	367	11
合計	919	66	62	923	4

【2】SC ビジネスミーティング開催報告

今期、延べ 271 名 (23 年度 324 名) にご参加いただいた。なお、1 回あたり平均参加者数は 23 名であった。

開催日時	テーマ	登壇企業
第 33 回 (4/25)	商業施設における DX 「DX でどこまで人手不足問題に対応できるのか～業務効率化だけに留まらない商業施設 DX のあり方とは」 「SCの売上管理・報告業務を効率化 ～SC業務支援と OCR 技術を活用した売上報告ツールのご紹介～」	(株)HataLuck and Person (株)リゾーム 参加者 37 名
第 34 回 (5/16)	デジタルマーケティングについて 「商業施設・テナントで一体的に取り組む Google マップ対策」	(株)Pathee 参加者 20 名
第 35 回 (6/20)	人材育成最前線 「VUCA 時代に求められる人材育成」 「人手不足と人材育成」	(株)アリストス (株)フィールデザイン 参加者 13 名
第 36 回 (7/25)	SCへの出店 「私たちの発想を形にし、人々に幸せを届けるために」 「バイオフィリア空間緑化について byOASEEDS」	(株)マッシュスタイルラボ 第一園芸(株) 参加者 17 名
第 37 回 (8/29)	販促・イベント 「空き区画を利用した OMO の可能性について」 「イベントの集客効果を最大化するジオターゲティング広告とは」	スカイファーム(株) グローリー(株) 参加者 34 名
第 38 回 (9/26)	関東大震災から 100 年 「少子化の社会構造を踏まえたSC防災」 「災害時、誰も水に困らない風景を作りたい～官民連携による取り組み事例のご紹介～」	コンビウイズ(株) WOTA(株) 参加者 16 名
第 39 回 (10/24)	商業施設におけるAI活用について 「行動認識 AI で施設 DX ～防犯カメラと AI が導く新時代のセキュリティ～」 「AI 画像解析技術による SC デジタル化:活用事例とソリューションのご紹介」	(株)アジラ ニューラルグループ(株) 参加者 28 名
第 40 回 (11/21)	商業施設における SDGs を考える 「環境配慮素材で実現するサステナブルな売り場づくりと顧客体験～消費者参加型の資源循環事例のご紹介～」	(株)TBM 参加者 36 名
第 41 回 (12/19)	SC の未来を創造する新規事業 「店舗や従業員に感謝や応援のメッセージとチップを届ける『TipSmile(チップスマイル)』のご紹介」	東日本旅客鉄道(株) 参加者 20 名
第 42 回 (2/6)	チャレンジピッチ 2024 決勝戦登壇企業プレゼンテーション	NEXCO 中日本サービス(株) (株)エルズグランドケアアカデミー、 参加者 14 名
第 43 回 (2/27)	チャレンジピッチ 2024 決勝戦登壇企業プレゼンテーション	チーム フランポネ スカイファーム(株) 参加者 23 名
第 44 回 (3/19)	チャレンジピッチ 2024 決勝戦登壇企業プレゼンテーション	(株)comvey、WED(株)、 湘南ベルマーレフットサルクラブ 参加者 13 名

(敬称略)

【3】人材確保対策特別委員会

(1)開催状況

1)第 1 回委員会<7 月 25 日>

- ①ウェルビーイング研究会の進捗と今後の進め方について
- ②ディベロッパーとテナントによる意見交換会実施(案)について
- ③ES 向上・人材確保の定量調査実施(案)について

2) 第2回委員会<11月27日>

- ①ウェルビーイング研究会の進捗と今後の進め方について
- ②ディベロッパーとテナントによる意見交換会の進捗と今後の進め方について
- ③ES向上・人材確保の定量調査実施案について

3) 第3回委員会<2024年3月8日>

- ①ウェルビーイング研究会の進捗と今後の進め方について
- ②ディベロッパーとテナントによる意見交換会実施(案)について
- ③ES向上・人材確保の定量調査実施(案)について

(2) 人材確保対策特別委員会の活動について

1) ウェルビーイング研究会の継続と深度化

- ・ウェルビーイング研究会を継続実施し、今年度は3回の議論を行った。
- ・情報委員会と連携して月刊誌11月号「人手不足特集」で最新事例掲載を行い、成果発信に取り組んだ。

2) 「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」の点検と見直し検討

- ・2018年策定以降の6年間を振り返り、ES宣言をさらに推進するものとするため、各社の本音と課題の本質を追求する「ディベロッパーとテナントによる意見交換会」を立ち上げ、対話の強化と機動的な課題解決に向けて、議論を行った。

ステップ	開催日	主な内容
STEP1 (テナントのみ)	2023年10月18日	テナント企業8社が参集し、人手不足の現況共有およびディベロッパーへの要望事項について整理
STEP1 (ディベロッパーのみ)	2023年10月20日	ディベロッパー企業8社が参集し、現状の取り組みやES宣言推進上の課題について議論
STEP2 1回目 (ディベロッパー・テナント)	2024年1月12日	STEP1に参加した16社が参集し、SCにおける人材確保施策について議論
STEP2 2回目 (ディベロッパー・テナント)	2024年3月6日	ES宣言推進に向けた重点取組項目および推進手法・体制について議論

<座長> 川井人材確保対策特別委員会委員長

<参画企業>

(順不同・敬称略)

ディベロッパー：イオンモール(株)、三井不動産商業マネジメント(株)、片倉工業(株)、東神開発(株)、(協)福井ショッピングモール、金沢ターミナル開発(株)(ディベロッパー座長)、仙台ターミナルビル(株)、下関商業開発(株)
 テナント：(株)アダストリア(テナント座長)、(株)オンワード樫山、メーカーズシャツ鎌倉(株)、(株)パリミキ、島村楽器(株)、(株)成城石井、(株)グルメ杵屋、(株)バンダイナムコアミューズメント

3) 当委員会の継続事業の実施

- ・ES・人材確保に関する定量調査の実施
- ・各支部・専門委員会と連携した情報発信や好事例の水平展開

<情報委員会>

- ・月刊誌:11月号「“超”人手不足時代に「効く」対策を求めて」
- ・冬季定例記者懇談会: (株)小田急 SC ディベロップメント様によるゲストプレゼンテーション

<DX委員会>

- ・売上報告業務標準化 WG の継続議論、SC ビジネスフェア 2024 無料セミナー実施

< 関東・甲信越支部 >

- ・2023年6月28日 第1回研修会 「受賞者に聞く！私のロールプレイングコンテスト物語」
- ・2024年3月5日 第3回研修会 「都心SCにおける営業時間・休館日改革～新宿ミロードを事例に～」

< 中部支部 >

- ・2023年12月1日 50周年セミナー

第二單元「新静岡セノバ:人材不足時代のSC運営 セノバの次の一手」

【4】公共政策ワーキンググループ

(1) 令和6年度税制等改正要望

昨年に引き続き「税制等改正要望WG」を組成し、要望項目案をとりまとめた(6月26日、7月19日、8月24日、9月26日の計4回開催)。要望項目は2024が3年に1度の評価替えの年となることを受けて「商業施設に係る固定資産税等の負担軽減措置の継続」を要望するとともに、人手不足や重要な社会課題への支援、期限切れを迎える特例制度の延長など、20項目をとりまとめ、9月30日付で国に提出した。

(2) 物流の適正化・生産性向上に向けた業界自主行動計画の策定(別紙・95ページ参照)

2024年4月よりトラックドライバーの時間外労働の上限が厳格化されることを受け、2023年6月に政府より「物流革新に向けた政策パッケージ」および早急に取り組むべき事項をまとめた「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」が策定された。

この中で各業界団体に対して、自主行動計画の作成依頼があり、ワーキンググループにおいて検討を進め、「ショッピングセンター業界における物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画」を策定し、経済産業省に提出するとともに会員に周知した。

(3) 制度説明会の実施

SC業界に影響の大きいと思われる法改正等について、会員向け説明会を以下のとおり開催した。

日 時:2023年10月4日(水)
テ ー マ:ステルスマーケティング規制に関する説明会
講 師:消費者庁 表示対策課
開催形態:協会会議室およびオンライン併催
対 象:会員限定
聴 講 者:147名

日 時:2024年2月7日(水)
テ ー マ:障害者差別解消法改正に伴う説明会
講 師:経済産業省 経済社会政策室
開催形態:協会会議室およびオンライン併催
対 象:会員限定
聴 講 者:136名

【5】環境ワーキンググループ

(1) カーボンニュートラル実行計画における目標数値の見直しに向けた国の方針や法律等の動向把握

経済産業省が主導するカーボンニュートラル実行計画(低炭素社会実行計画から名称を変更)に係るSC業界の2030年目標が既に達成されていることを踏まえて、目標数値の見直しに向けた情報収集および動向把握のため、以下のとおり活動を行った。

第1回WG 4月14日(金) 以下の説明会および質疑応答、業界への影響について議論を行った。

- ・東京都キャップ&トレード制度について 講師:東京都 環境局 気候変動対策部

第2回WG 7月5日(水) 以下の説明会および質疑応答、業界への影響について議論を行った。

- ・カーボンニュートラル実行計画について 講師:経済産業技術局 環境経済室
- ・改正省エネ法について 講師:資源エネルギー庁 省エネルギー課

(2) 東京都のキャップ&トレード制度への対応

制度案の内容およびSC業界への影響を鑑みて、パブリックコメントの提出を行った。

(3) SCにおけるエネルギー量実態調査の実施(2022年度実績対象)

2013年から当協会が参画している「カーボンニュートラル実行計画」の2030年目標について、今年度もフォローアップ調査を実施し、経済産業省に提出した。

2. 人材育成委員会

2023 年度 活動総括

(1) 総括

2023年度は、初心者・初級者向けの基本セミナーや先進事例などを取り上げた事例研究セミナー、SCの現場で起きている課題や業界における課題の解決に寄与するセミナーなど、人材育成の軸となるセミナーを企画・推進したことで受講者増につながった。

通信教育講座は約10年ぶりにテキストの改訂を実施した。また、5月より演習問題や修了レポートのオンライン化を開始し、会員ニーズに即した企画・推進を図った。

SC接客ロールプレイングコンテストについては、2023年度も支部大会でライブ配信を行い、SC 接客マイスター検定においては、試験審査のさらなる平準化に努めた。

また、約3年半ぶりに海外視察研修ツアーを再開し、11月にニューヨーク、3月にロサンゼルスとの2回のツアーを実施した。

(2) 事業報告

1) セミナー

○延べ開催本数 (2023年度) 77本 (内訳：会場37本・アーカイブ40本)
(2022年度) 88本 (内訳：会場31本・アーカイブ56本・WEBライブ1本)

○延べ受講者数 (2023年度) 1,269名 ※1本あたり約16名(会場：約28名・アーカイブ約5名)
(2022年度) 1,083名 ※1本あたり約12名(会場：約16名・アーカイブ約10名)

2) SC接客ロールプレイングコンテスト

「第29回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の大賞・SC接客日本一に輝いたのは、中部大会代表「土岐プレミアム・アウトレット」「リュウ」の遠藤公志郎氏となった。

遠藤氏には併せて経済産業大臣賞が贈られた。

【開催日】 2024年1月26日(金)
【会場】 パシフィコ横浜 会議センター1階 メインホール
【競技者数】 27名(食品・飲食・サービス部門9名、ファッション・物販部門18名)
【見学者数】 延べ2,000名(前回1,800名)

《入賞者一覧(敬称略)》

氏名	SC名	店名	支部(地区)
◆大賞・SC接客日本一並びに経済産業大臣賞			
遠藤 公志郎	土岐プレミアム・アウトレット	リュウ	中部大会
◆食品・飲食・サービス部門			
【優勝】			
南 三恵子	プライムツリー赤池	サンクゼール・久世福商店	中部大会
【準優勝】			
板本 重美	エキュート上野	かきたねキッチン	東京大会
◆ファッション・物販部門			
【優勝】			
井上 裕文	なんばパークス	シップス	近畿大会

【準優勝】			
河野 睦美	三井ショッピングパーク ららぽーと横浜	アフタヌーンティー・リビング	関東・甲信越 大会
◆審査員長賞			
新屋敷 茉梨香	アミュプラザ小倉	ゴディバ	九州・沖縄 大会

※上記入賞者以外の競技者は「優秀賞」を受賞

3) SC接客マイスター検定

合格者数

2023年度：1級24名、2級69名、3級65名、計158名

(2022年度：1級25名、2級74名、3級70名、計169名)

4) 海外研修会

(単位:名)

ツアー名	開催期日	訪問都市	参加者数		
			実績(a)	目標(b)	(a)-(b)
第144回	11/7～11(5日間)	米国東海岸(ニューヨーク)	34	25	9
第145回	3/18～22(5日間)	米国西海岸(ロサンゼルス)	28	25	3

5) 通信教育講座 (SC開発講座、SC管理運営講座)

(単位:名)

講座名	2023年度			2022年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)-(b)	実績 (c)	2023年度 比較増減 (a)-(c)	実績 (d)	2023年度 比較増減 (a)-(d)
SC開発講座	276	142	134	126	150	125	151
SC管理運営講座	536	463	73	487	49	477	59
合計	812	605	207	613	199	602	210

6) SCテナントスタッフハンドブック

(単位:冊)

SCテナント スタッフ ハンドブック	2023年度			2022年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)-(b)	実績 (c)	2023年度 比較増減 (a)-(c)	実績 (d)	2023年度 比較増減 (a)-(d)
	81	145	-64	81	0	299	-218

7) SCマネジメントブック

(単位:冊)

	2023年度			2022年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a) - (b)	実績 (c)	2023年度 比較増減 (a) - (c)	実績 (d)	2023年度 比較増減 (a) - (d)
SCマネジメントブック	79	78	1	115	-36	180	-101

8) サポート関連 (研修講師派遣)

(単位:件)

	2023年度			2022年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a) - (b)	実績 (c)	2023年度 比較増減 (a) - (c)	実績 (d)	2023年度 比較増減 (a) - (d)
サポート関連	5	18	-13	9	-4	28	-23

9) SCアカデミー

受講者数：第17期 38名 (第16期42名)

10) 冠講座

実施校：(2023年度前期) 流通科学大学 <履修者数> 330名
(2023年度後期) 多摩大学 <履修者数> 120名

11) SC 経営士試験関連について

合格者数：第 32 期 54 名 (第 31 期 47 名)

12) SC 経営士資格 登録更新講習

SC 経営士登録更新者数：2023 年度 123 名 (2022 年度 99 名)

3. 情報委員会

2023年度 活動総括

(1) 総括

基幹事業である月刊誌「SC JAPAN TODAY」では、協会創立 50 周年の記念イヤーに合わせて、「オープンイノベーション」(6月号)や「新視点での商業施設開発」(10月号)といった未来志向のテーマを多く取り扱ったほか、「物価高騰対策」(4月号)、「人手不足対策」(11月号)といった喫緊の課題も取り上げるなど、会員のビジネスに生かしていただく情報の提供に努めた。また、月刊誌の媒体力向上に向けてリニューアルに関する議論を引き続き進めている。

広報活動では、プレスリリースなどを通じて協会活動を積極的にPRした。実際に取り組む SC 関係者からの生の情報発信を通じて、メディア関係者に業界の取り組みをより深く知ってもらうことを目的として、定例記者懇談会では優れた取り組みを行う SC 関係者をゲストとして招き、自社の施策や実施に至った背景などを紹介いただく試みを開始した。

協会創立 50 周年記念媒体として、「記念写真集」「記念特設サイト」を制作したほか、月刊誌の 5月号～12月号では SC の未来に向けたメッセージや座談会を中心とした記念コンテンツを掲載した。

(2) 事業報告

1) 情報発信

① 月刊誌「SC JAPAN TODAY」

4月号	5月号	6月号	7・8月合併号 (創刊50周年記念号)	9月号
物価上昇の今こそ 高める商品価値・店舗体験	SC 管理・運営の 基礎知識	オープンイノベー ションで SC ビジネスを 共創する	決定!! 第9回日本 SC 大賞 第7回地域貢献大賞/ シン・ローカルグッドな SC	アウトレットモールの多様 化～地域共生・コト消費 など新たな価値創出へ～
10月号	11月号	12月号	1・2月合併号	3月号
SC づくりの“新視点”	“超”人手不足時代に 「効く」対策を求めて	魅力的なフードゾ ーンをつくる	遊べる! 学べる! 体験型教育 施設としての SC/本格化する再 開発における商業機能の役割	第48回日本ショッピ ングセンター全国大会

②メルマガ「JCSCNEWS」

毎月月末に通常号(協会活動、オープン SC、販売統計など)、月中にセミナー号を配信。
登録者数:約 10,800 ユーザー(2024 年 2 月末時点) [前年同期:約 8,500 ユーザー]

2) 広報活動

①プレスリリース配信

・販売統計(3月～2月、2023年年間)	13回
・第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表	1回
・SC白書2023 発行	1回
・協会創立50周年記念写真集 発行	1回
・第51回定期総会 開催報告	1回
・月刊誌 創刊50周年	1回
・第35回SC緑陰トップフォーラム 募集	1回
・チャレンジピッチ2024 (募集開始／決勝戦出場者決定)	2回
・2023年度定例記者懇談会開催(夏季／冬季)	2回
・第29回SC接客ロールプレイングコンテスト (支部大会開催／全国大会出場者決定)	2回
・SC賃料・共益費2023発行	1回
・第48回日本ショッピングセンター全国大会(開催／結果)	2回
・令和6年能登半島地震義援金の募集結果	1回
	計29回

②定例記者懇談会

夏季と冬季の年2回開催

【夏季】

日 時	2023年8月3日(木) 16:30～17:50 懇談会(記者発表) 18:00～18:50 交流会	
場 所	ホテルメトロポリタンエドモント(飯田橋)	
内 容	<p>I. 2023年上期(1～6月) SC業界の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SC販売統計調査報告 2. オープンSCの概要と特徴 3. SCの取り組み紹介 <ol style="list-style-type: none"> ①インバウンド再始動で、SCの“おもてなし”再び ②コロナ禍を経ての新たな地域共生の取り組み <p>II. 2023年下期(7～12月) オープン予定のSC等商業施設</p> <p>III. 協会の主な取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協会創立50周年事業 2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表 3. SC経営士会 4. 人材育成事業 <p>IV. 今後の予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト 2. SCビジネスフェア2024 	
記者数	38名	
その他	<p>○第9回日本SC大賞金賞を受賞した「新静岡セノバ」の静鉄プロパティマネジメント(株)の小坂代表取締役社長、第7回地域貢献大賞を受賞した「サクラマチ クマモト」の九州産交ランドマーク(株)の渡邊代表取締役社長にゲスト登壇いただき、両SCの取り組みを報道関係者にご紹介いただいた。</p> <p>○理事のご招待も今回より再開した(2019年度以来)。</p>	
		

【冬季】

日時	2023年12月22日(金) 11:00~12:20懇談会	
場所	ホテルメトロポリタンエドモント(飯田橋)	
内容	<p>I. 2024年 年頭所感</p> <p>II. SC業界の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 2023年SC販売統計調査報告 2023年オープンSCの概要 2023年SCの取り組み紹介 <ol style="list-style-type: none"> SCはお客様の夢や活動を応援する場に 深刻化する人手不足への対応 2024年オープン予定のSC等商業施設 <p>III. 2023年 協会のおもな取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和6年度税制等改正要望 SC経営士会 SC賃料・共益費2023 <p>IV. 第48回日本ショッピングセンター全国大会</p> <ol style="list-style-type: none"> SCビジネスフェア2024 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト <p>V. その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 2024年の主な行事予定 	
記者数	36名	
その他	<p>○「深刻化する人手不足への対応」事例として、(株)小田急SC ディベロップメントの市野取締役にご登壇いただき、2023年10月より店舗の希望により営業時間中に一時的な休業時間を設けることができる「中休み制度」の導入、休業日を現行の年3日⇒4.5日に変更された休業日増など新宿ミロードにおける人材確保・ESの取り組みをご紹介いただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

③取材対応

- ・「第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞決定」報道対応(静岡新聞、熊本日日新聞、RKK熊本放送、陸奥新報、福島民報、姫路経済新聞など)
- ・「第51回定期総会・協会創立50周年式典・懇親パーティー」報道対応
- ・織研新聞社 連載「軌跡」取材対応
 テーマ:『学ぶ育てる伝える 日本ショッピングセンター協会の50年』
 上(8月28日掲載)、中(9月4日掲載)、下(9月25日掲載)
- ・織研新聞社 新年度号 清野会長インタビュー対応(12月5日)
- ・織研新聞社 大津全国大会実行委員会委員長インタビュー対応(12月27日)
- ・朝日新聞 日本におけるSCのあゆみ、近年の特徴、沖縄のSCについて(3月6日)
- ・共同通信 改正障害者差別解消法について(3月13日) など

3) 協会創立 50 周年記念媒体

協会創立 50 周年記念媒体として、「記念写真集」「記念特設サイト」を制作したほか、月刊誌(5~12月号)にて記念コンテンツを掲載した。

[制作物]

①協会創立 50 周年記念写真集「人とまちと時代をつなぐ」

制作 WG メンバー等にご協力いただき、掲載 SC を選定。ディベロッパー企業などにご協力いただき、100 を超える貴重な SC の写真を掲載した。5 月 23 日発行、発行部数は 3,000 部。



デジタル版も公開中！

<https://www.jcsc.or.jp/50th/history/#memorial>



◎5 月 23 日開催の「第 51 回定期総会」にて来場者の皆様に配布したほか、理事、会員窓口担当者、委員会・支部委員、セミナーなどのイベント参加者、SC アカデミー受講生、報道関係者などに配布した。

②協会創立 50 周年記念特設サイト

5 月 23 日に特設サイトを開設し、第 1 弾コンテンツを公開。2023 年 12 月まで毎月、月刊誌「SC JAPAN TODAY」と連動したスペシャル座談会や、SC 業界の第一線で活躍するプロフェッショナル(SC 経営士など)へのインタビュー記事「SC プロフェッショナル ミライへの挑戦」などのスペシャルコンテンツを掲載した。



協会創立 50 周年記念特設サイト

<https://www.jcsc.or.jp/50th/>



◎2023 年 12 月末時点で約 2,700 ユーザー(UU)に閲覧いただいた。

③月刊誌「SC JAPAN TODAY」における記念コンテンツ

2023年5月号～12月号まで毎号、業界関係者などからのメッセージや、SCのミライに向けた座談会などのスペシャルコンテンツを掲載した。

掲載号	コンテンツ	
5月号	メッセージ	挨拶:会長、副会長 ご祝辞:経済産業大臣、国土交通大臣、農林水産大臣
6月号	メッセージ	ご祝辞:日本小売業協会、日本百貨店協会、日本専門店協会、不動産協会
	寄稿	解説『ショッピングセンターのあゆみと今日』 著者/SC経営士 南亮一氏
7・8月 合併号	カラー	SC未来想像図『2040年ごろのSCはこうなる!?!』
	座談会	SC開発ストーリー『“SCの成功が街の成功”へ計画から開業に携わった関係者に聞く「テラスモール湘南」の成功要因と成長要因』 パネリスト/住友商事(株) 商業施設事業部 事業推進第2チームリーダー 古川 睦 氏 住商アーバン開発(株) 代表取締役社長 羽鳥 貴弘氏 住商アーバン開発(株) 常務取締役 企画開発本部長 兼 PM 事業第二本部長 伊井 雅彦 氏 コーディネーター/㈱ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役 矢木 達也 氏
	座談会	ミライのSC『若手・中堅ディベロッパー社員が描く「ミライのSC」～20年後のSCの姿を想像～』 パネリスト/㈱新都市ライフホールディングス 丹野 亮吾 氏 ㈱丸井 磯部 亜矢 氏 三菱地所プロパティマネジメント(株) 平川 敬悟 氏(情報委員会委員) 東日本旅客鉄道(株) 大西 伊織 氏 ※すべてSCアカデミー卒業生 進行/太田情報委員会委員
9月号	座談会	接客のミライ『OMO時代だからこそ接客は重要な意味をもつ』 パネリスト/㈱ジンズ 伊藤 二三 氏(第27回SC接客ロールプレイングコンテスト大賞) ㈱バロックジャパンリミテッド 村岡 美里 氏(STAFF OF THE YEAR2021 グランプリ) ㈱ビームス Heg. 氏(STAFF OF THE YEAR2022 グランプリ) 進行/㈱Thanks Dream 代表取締役社長 関岡 英人 氏
10月号	座談会	専門店とSCのミライ『テナント企業トップに聞く、今後のSCに期待することとは』 パネリスト/㈱サックスパー ホールディングス 代表取締役社長 木山 剛史 氏 ㈱ハニーズホールディングス 代表取締役社長 江尻 英介 氏 ㈱有隣堂 代表取締役社長 松信 健太郎 氏 進行/青出木情報委員会委員
11月号	座談会	メディアの視点『流通系専門メディアに聞く SCの今とこれから』 パネリスト/織研新聞 編集局 本社編集部 チーフマネージャー 有井 学 氏 流通ニュース 編集長 鹿野島 智子 氏 商業施設新聞 編集長 高橋 直也 氏 進行/青出木情報委員会委員
12月号	メッセージ	専門委員会委員長、SC経営士会会長

4. 調査研究委員会

2023 年度 活動総括

(1) 総括

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行による外出機運の高まりや、インバウンド客増などにより SC への来館が増加し、コロナ禍前の売上への回復基調が続いた。そのような SC の売上や、賃料、開発などの動向について、SC ディベロッパー企業各社のご協力により継続調査を滞りなく実施した。

また、協会創立 50 周年という節目を迎えるにあたり、これまで蓄積してきた統計データをあらためて整理し、SC 業界をデータで振り返るとともに、より多くの方に協会データを活用いただけるよう、データの検索システムの整備を進めた。

さらに、消費動向の変化に伴う商業施設開発の多様化をふまえて、2022 年度より着手した「SC 取扱い基準」の改定についてワーキンググループ (WG) を設置して検討を進め、改定案をまとめた。

(2) 事業報告

1) 「SC 取扱い基準」の改定の検討

近年、テクノロジーの進化に伴う EC の台頭、コロナ禍による生活様式の変化など SC を取り巻く環境が大きく変化するなか、「モノからコトへ」の消費動向の変化が一層進み、それを受けて商業施設の開発動向にも変化がみられる。そのようななか、2022 年度より着手した「SC 取扱い基準」の改定について、2023 年度は WG を設置して、あらためて現行の SC 取扱い基準を検証し、その検証内容を踏まえて改定案を取りまとめた。

2) 長期的な統計データの整理

協会創立 50 周年という節目を迎えるにあたり、これまでの SC 業界を振り返ることのできる SC データの整理を進め、『SC 白書 2023』や協会 WEB サイトの 50 周年記念特設ページで公開した。

また、これまで蓄積してきた各種統計データを協会 WEB サイト上で検索して資料作成などに活用できる「統計データベース」の構築を進めた。まず、2023 年度は「SC 販売統計調査」について整備を進め、10 月 27 日に会員限定コンテンツとして新設した。

3) SC 販売統計調査

SC 販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を着実に実施した。また、調査結果のさらなる精度向上を目指し、地域によるサンプル構成の偏りを改善するため、サンプルの不足している地域について重点的に協力依頼を進めた。その結果、10 社 46SC の新規協力を得た。

4) SC 賃料・共益費実態調査 2023

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料の調査を実施した。従来は 12 月に調査結果を発表していたが、前年の賃料額の調査であることから、結果をより早く活用いただくことができるよう、調査開始時期を早め、2023 年 10 月 24 日に協会 HP (会員限定) にて発表した。サンプル数は 291SC となった。

5) 『SC白書 2023』の発刊、SC開発動向等データの発表

国内外のSC業界の2022年の動向や各種基礎データを掲載した『SC白書 2023～新たな時代に向けて歩み出すSC』を第51回定期総会開催日(2023年5月23日)に発刊した。協会創立50周年という節目であることから、日本のSC業界を振り返る長期的な統計データを掲載するとともに、米国および欧州のSC業界の半世紀の歴史についても記載した。

また、SCの新規オープン情報に加えて、会員に向けてSCの開発計画(月次)ならびに全国のSCの基礎情報(年1回・6月)を発信した。

5. 全国大会実行委員会

2023 年度(第 48 回大会) 活動総括

(1) 開催概要

- 1) 会期:2024 年 1 月 24 日(水)～1 月 26 日(金)
- 2) 併催イベント:チャレンジピッチ 2024～NEXT SC～ 決勝戦
- 3) 出展者:合計 151 社(初出展 31 社) 395 小間 (前回 147 社・386 小間)

ゾーン	出展者数	小間数
ディベロッパー	41	142
テナント	33	88
DX・サポート	73	159
発見マルシェ	4	6
合計	151	395

- 4) 来場者数:延べ36,750名(前回 31,800名)

事前来場登録15,436名(前回 13,594名)、入場・二次元コード読取12,284名(前回 10,467名)

- 5) 特別協賛:(株)JR 東日本クロスステーション、JLL リテールマネジメント(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)メトロプロパティーズ、八重洲地下街(株)、関西大学

(2) セミナーおよび懇親パーティー

- 1) 有料セミナー(1月24日):

日時	1/24 13:00～14:10	1/24 14:25～15:45	1/24 16:00～17:00
テーマ	特別対談 「万博が創造する暮らしと未来～大阪・関西から世界へ」 <講師> 大崎 洋 氏 大阪・関西万博催事検討会 議共同座長 中村 利江 氏 エムスリーソリューションズ(株) 代表取締役社長 白石 真澄 氏 関西大学教授	講演① 「日本最大級の社員クチコミデータから読み解く、ショッピングセンター業界における人手不足対策」 <講師>大澤 陽樹 氏 オープンワーク(株) 代表取締役社長 講演② 「旗艦店@cosme TOKYO／@cosme OSAKA の体験価値の創造にみる、これからのリアル店舗の役割」 <講師> 坂井 亮介 氏 (株)アイスタイル 販売販促事業ユニット 副ユニット長	対談 「～SCの未来を語る～リアルSCを救うのは誰か」 <講師> 小野里 寧晃 氏 (株)バニッシュ・スタンダード 代表取締役 CEO 飯嶋 薫 氏 (株)R・B・K 代表取締役
	聴講者数		
計	81 名	74 名	86 名
前回	171 名	126 名	110 名

2) 懇親パーティー(1月24日):参加者 365名(前回 353名)

3) 無料セミナー(1月24日～1月26日):

＜出展者プレゼンテーション 21講座＞

(敬称略)

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
①	1/24 11:00～ 11:30	B	㈱乃村工藝社 乃村工藝社が考えるサステナブルデザイン ～気づき、きっかけ、導き、これからも人々を幸せにする空間をつくり続けるために～	138 人
②	1/24 12:00～ 12:30	B	ネイス㈱ SCが子育てのインフラになる！年延べ100万人以上が通う子ども向け体操教室の秘密 ～年間30店舗以上出店をし続ける地域密着型教室の取り組み～	38 人
③	1/24 12:30～ 13:00	A	㈱HataLuck and Person 人手不足に悩むテナントに提案できる！“働きがい”を高めるDX事例 ～個人IDのメリットを活かしたショップサポートのご紹介～	52 人
④	1/24 13:00～ 14:00	B	技研商事インターナショナル㈱ 全て見せます！商圈分析最新情報 ～GIS(地図情報システム)の進化と具体的事例をご紹介～	92 人
⑤	1/24 14:00～ 14:30	A	㈱ギックス SCにおける施策の選択肢と可能性を拡大するキャンペーンプラットフォーム～ 施策の手間を減らしつつ、施策の多様化と高度化を一気通貫で実現～	53 人
⑥	1/24 14:30～ 15:00	B	㈱EnPal、静鉄プロパティマネジメント㈱、㈱アイジーエー ESぼうさい『もしも』のとき、守れますか？～ES視点の新たなスタッフ研修、その効果をSC・ショップ代表が語る～	114 人
⑦	1/24 15:00～ 15:30	A	㈱シー・ピー・オー設計 SCで成功する「新HBCビジネスのあり方」とは？ ～「ヘルシー&ビューティー&カルチャー」弊社最新事例のご紹介～	68 人
⑧	1/24 15:30～ 16:30	B	㈱ipoca、㈱サンシャインシティ 次世代★商圈分析到来！だれでも簡単！外部データをミカタにつける！ ～劇的進化を続けるリーシングも！自施設・競合施設のフロア毎の分析の最新事例ほか～	117 人
⑨	1/24 17:00～ 17:30	B	コンビウィズ㈱、コドモト㈱ ママパパマップからみた使いやすいベビー休憩室とは ～ママパパが求める施設への設計ポイント～	34 人
⑩	1/25 12:00～ 12:30	B	㈱メディカルシステムネットワーク 商業施設における医療モールの開発について ～開発時における有用性と留意点～	98 人
⑪	1/25 13:00～ 14:00	B	㈱USEN DXソリューションを活用した「接客・インフォメーション業務」の課題解決！～公共交通機関・宿泊・商業施設での課題解決事例～	95 人
⑫	1/25 14:30～ 15:00	B	ワンスア라운드㈱ 受講者が10倍に！？今どきの研修のカタチ ～ショップの今に向き合い、みんなが参加したくなる！現場の課題解決のヒントがみつかる～	52 人
⑬	1/25 15:30～ 16:00	B	グローリー㈱ イベント集客を最大化する ジオターゲティング広告とは ～SCの販促支援を行うカスタマーサクセス担当が、わかりやすく解説します！～	92 人

⑭	1/25 16:30～ 17:30	B	(株)ハブアンドスポーク、(株)ウルフ、(株)ファナティック 日本を代表するプロフェッショナルが集結！SCで使えるデジタル販促最新事情 ～Instagram / TikTok / LINE / ショート動画～	89 人
⑮	1/26 10:30～ 11:30	A	(株)ノエックス SCが地域レジリエンスの中心になる！ ～これからの標準装備『シェアして使える移動電力』普段も使えてサービス拡大～	23 人
⑯	1/26 12:00～ 12:30	B	(株)コマースデザインプロダクト リアル復活！広くリーチして深くエンゲージするこれからのSC販促 ～「顧客やテナントを巻き込む」デジタル活用の事例を紹介～	99 人
⑰	1/26 12:30～ 13:00	A	(株)イズミコンサルティング 商業施設の建設コスト削減などに貢献する避難安全検証法 ～避難安全検証法による建設コスト削減と店舗レイアウトの自由度向上の可能性について～	56 人
⑱	1/26 13:00～ 13:30	B	(株)クラウドポイント、(株)SC&パートナーズ 顧客にマインドスイッチを与える環境空間とは ～人に伝えたい空間づくり～	110 人
⑲	1/26 13:30～ 14:00	A	(株)リゾーム 生成AIがもたらす、商業施設のリーシングイノベーション	95 人
⑳	1/26 14:00～ 15:00	B	(株)パルコスペースシステムズ、(株)パルコデジタルマーケティング 商業施設運営のデジタルシフトとリテールメディア化 ～「SC3.0」今できることと、もっと未来の施設のあり方を探して～	104 人
㉑	1/26 14:30～ 15:00	A	コノイロホールディングス(株) 不人気の底辺業種からSCテナント人気店への挑戦 ～実は生活インフラとして重要な戸建て塗装工事。その業界変革を目指す「コノイロ」がSCに新たな風を吹かせる戦略とは？～	45 人

<主催者企画 5講座>

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
①	1/24 16:00～ 17:30	A	SC経営士会 『SCの未来を語ろう』SC×SDGs・ダイバーシティ ～地球市民として生きるSCを目指して～	115 人
②	1/25 11:00～ 12:00	A	関東・甲信越支部 単館SC研究会 単館SCの未来について考える	163 人
③	1/26 10:30～ 11:30	B	全国大会実行委員会 学生向け業界研究セミナー 若手社員に期待すること、SCディベロッパー業界研究、SCで働くということ	91 人
④	1/26 15:30～ 16:30	A	SCアカデミーテラス 新時代・SCの未来を語る ～人手不足時代のSC運営に求められることは？～	95 人
⑤	1/26 15:30～ 16:30	B	デジタルトランスフォーメーション委員会 ESの視点で考える「その売上報告、いつまで続けるの？」PART2 ～標準化、そしてデジタル化へ～	145 人

(3)併催イベント「チャレンジピッチ 2024 ～NEXT SC～ 決勝戦」

- 1) 日時 2024年1月25日(木)
- 2) 会場:パシフィコ横浜 展示ホール内 プレゼンテーションA会場

- 3) 方法:応募総数 28 組の中から一次選考(書類選考)で選出された 8 組が登壇
 1 組につき約 10 分間のピッチを実施
 ≪司会≫三輪 美恵 氏(株)JTB 常務執行役員 地域交流担当 CX 推進担当)

4) 表彰・インセンティブ:

- 最優秀賞…賞金 50 万円+SCビジネスフェア 2025(次回)出展権利など
 優秀賞 …賞金 30 万円
 特別賞 …賞金 20 万円
 決勝戦出場者…SCビジネスミーティング登壇(1 回)⇒2024 年 2 月～3 月開催
 ・月刊誌「SC JAPAN TODAY」寄稿(1 回)⇒2024 年 6 月号～10 月号予定

5) 開催結果 (敬称略)

賞	企業・団体名	テーマ
最優秀賞	湘南ベルマーレフットサルクラブ	農業×福祉×スポーツで生み出す新しい「社会共生モデルの舞台」としてのSC
優秀賞	チーム フランポネ	漫オフェス D1 グランプリ
特別賞	(株)エルズグランドケアアカデミー	フェムテックを活用した女性専用ワークラウンジ
	(株)JR 東日本パーソネルサービス	文化発信拠点としての「令和時代の書店」をSCで
	NEXCO 中日本サービス(株)	高校生たちによる障がい者家族が楽しめる買い物の実現へ
	スカイファーム(株)	遊休スペースの活用による新しい売り場戦略
	(株)comvey	シェアバッグを起点にしたサステナブルな購入体験
	WED(株)	レシート買取アプリ ONE を活用したデジタル販促施策のご提案

6) その他

- ・ミニプレゼン開催:前回最優秀賞・(株)grow&partners 取締役 石井 望 氏
- ・名刺交換会開催:表彰式終了後、決勝戦出場者とゲスト企業や一般聴講者らとの名刺交換会を開催

6. デジタルトランスフォーメーション委員会

2023年度 活動総括

(1) 総括

2023年度は、「DX人材の育成」と「SCにおける従業員の業務効率化・生産性向上」を目的に活動を行った。

具体的には、「DX人材の育成」については、各社がそれぞれ特性を打ち出して取り組む競争領域との考えから、各社の人材育成に寄与すべく、DX勉強会を2回(7月、2月)開催した。

また、「SCにおける従業員の業務効率化・生産性向上」については、業界共通の課題として売上報告／売上管理の効率化・生産性向上を検討するワーキンググループ(以下、WG)を立ち上げ、業務標準化案の策定と機運醸成の取り組みに注力した。次年度は、システム開発企業を巻き込んだ実装手法の検討に向け、引き続き議論を継続していく。

(2) 事業報告

1) 「売上報告業務標準化WG」の活動(EX×協調領域)

2021年度より立ち上げた売上報告/管理の効率化WGの議論を継続し、共通プラットフォームの具体化に向けて他事例の情報収集を行い、今後の実装手順として、①業務標準化②デジタル化の2ステップに定め、ステップ1の業務標準化案の策定を行った。

具体的には DX 委員企業の総参加による「売上報告業務標準化WG」を組成し、先進企業事例を参考にした「報告項目の最少化・共通化」「ディベロッパーの従来の確認方法の簡素化」について議論を行い、ディベロッパーとテナント双方の業務負担軽減となる新たな業務フローをまとめ、提言書の取りまとめを進めた。

また、標準化案の進捗報告と解決機運醸成のため、SCビジネスフェア 2024において無料セミナー「ES視点で考える、その売上報告いつまで続けるの? PART2」を開催し、参加した145名の業界関係者に対して解決案の構想について発信を行った。当日の講演内容は月刊誌3月号にも掲載され、会場聴講者以外への周知も行った。

2) 「DX勉強会」の企画・実施(「CX×競争領域」)

自社におけるDXの実践およびDXに関わる悩みや課題の解決を目的に、下記のとおり、DX勉強会を企画・実施した。

<第1回>

日 時:2023年7月7日(金)

テ ー マ:生成系AIの本質を理解する。

講 師:The second velocity startup studio(株) 代表取締役社長 佐藤 洋介 氏

開催形態:協会会議室およびオンライン併催

対 象:会員限定

聴 講 者:約50名

<第2回>

日 時:2024年2月14日(水)

テ ー マ:AIを活用した需要予測のケーススタディ

講 師:(株)トリドールホールディングス BT本部 執行役員 兼 CIO 兼 CTO 磯村 康典 氏

富士通(株) クロスインダストリーソリューション事業本部 シニアマネージャー 佐藤 祐介 氏

開催形態:協会会議室およびオンライン併催

対 象:会員限定

聴 講 者:約90名

7. SC経営士会

2023年度 活動総括

(1) 総括

2023年度は、幹事会を4回開催し、活動内容等について審議を行った。これを受けて、各グループ・ブロック活動、例会(夏・秋・春)、年次ゼネラルミーティング(1月)を開催。SCビジネスフェア2024では業務・広報グループが中心となって、SC経営士会主催のセミナーを開催した(参照/2023年度SC経営士会活動一覧)。

また、今年度は各支部主催の協会創立50周年記念セミナーにて2021・2022年度の年間課題研究であった「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」の研究結果発表を行い、SC協会のシンクタンクの機能の発揮を目指したほか、秋・春の例会においてはSC経営士以外の方にも参加枠を設け、SC経営士会の活動の認知度向上と、SC経営士を目指す人材の開発に努めた。

(2) 事業報告

1) 「例会」について

①「夏の例会」

開催日時	2023年7月11日(火) 15:00～17:00
参加人数	75名
会議形式	会場/オンライン併催
テーマ	「幕張豊砂駅開業に合わせエリアの活性化に磨きをかけるイオンモールと千葉ステーションビル ～両社が紡ぐエリアマネジメントの将来像～」
内容	・第一单元「幕張新都心のまちづくりの現在地と未来、民間企業に期待すること」 講師: 千葉市 総合政策局 未来都市戦略部 幕張新都心課 課長 久能 淳史 氏 ・第二单元(15:30～16:00)「幕張の地に根差すSC ディベロッパーとしての取り組み」 講師: イオンモール(株) イオンモール幕張新都心 ゼネラルマネージャー 小林 純一 氏 ・第三单元(16:10～16:40)「JR 東日本グループとしてのエリア活性化の取り組み」 講師: (株)千葉ステーションビル 取締役 くらしづくり本部 地域・沿線共創部 部長 瀬戸口 淳 氏 ・第四单元(16:40～17:00)質疑応答

②「秋の例会」

開催日時	2023年9月27日(水) 14:00～16:00
参加人数	SC経営士(リアル参加25名、オンライン73名)、オンライン一般参加者52名
会議形式	会場/オンライン併催
テーマ	「北海道ボールパークFビレッジ」から学ぶ次世代の街づくり
内容	・第一单元(14:00～14:40)「札幌エリア商業施設の現状と今後」 講師: 札幌駅総合開発(株) 吉原 徹平 氏 ・第二单元(14:40～15:30)「ボールパーク構想と地域活性化について」 講師: (株)北海道日本ハムファイターズ 柳下 堅志 氏 ・第三单元(15:30～16:00)質疑応答

③「春の例会」

開催日時	2024年3月14日(木) 15:30～17:30
参加人数	SC経営士(リアル参加48名、オンライン85名)、オンライン一般参加者50名
会議形式	会場/オンライン併催
テーマ	ウェルビーイングやサステナビリティを意識した、これからのSCのヒント
内容	・第一单元(15:35～16:30) 「生活者視点から考える、商業施設におけるウェルビーイングとサステナビリティ」 講師: (株)ジェイアール東日本企画 村井 吉昭 氏 (株)ジェイアール東日本企画 松本 阿礼 氏 ・第二单元(16:35～17:30)「広域渋谷圏における商業施設運営」 講師: 東急不動産SCマネジメント(株) 佐々野 紀友 氏

2) 「年次ゼネラルミーティング」について

開催日時 2024年1月24日(水) 10:30～13:00
 会場 パシフィコ横浜 会議センター 503号室
 プログラム SC経営士会会長挨拶、副会長・ブロック長紹介、2023年度活動報告、
 2024年度活動計画、新SC経営士紹介(インタビュー)、参加者交流会
 参加者 192名

3) SCビジネスフェア2024 「SC経営士会主催セミナー」

開催日時 2024年1月24日(水) 16:00～17:30
 会場 パシフィコ横浜
 テーマ 「SCの未来を語ろう」～地球市民として生きるSCを目指して～
 参加者 115名
 登壇者 パネリスト：
 札幌駅総合開発(株) 取締役 松井 歩 氏
 復興庁 嶋根 美佐 氏
 (株)ルミネ 事業推進部 大出 友美 氏
 コーディネーター：
 (株)トリニティーズ 中山 亮 氏

4) SC経営士登録更新講習について

人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士登録更新講習を企画し、2023年度SC経営士更新講習を会場・オンライン(Zoom)によるハイブリッド形式で行った。9月は66名、11月は52名が参加した。

5) 冠講座の企画について

冠講座についても人材育成委員会から依頼を受けて、2023年度前期は流通科学大学、後期は多摩大学で実施した。具体的には、協会事務局と連携して、カリキュラムのそれぞれの単元について、支部管内の企業、SC経営士等の講師案を作成し実施した。

6) SC経営士会【THE CIRCLE】の配信について

業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』の内容の一層の充実を図り、第29号(6月28日発行)から第31号(1月11日)まで3号を配信した。

7) 年間研究発表について

協会創立50周年記念セミナーにて、2021・2022年度の年間課題研究であった「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」の研究発表を以下の通り実施した。

日程・会場 (主催支部)	講師
10月13日(金) 福岡 (主催/九州・沖縄支部)	藤木会長
11月30日(木) 札幌 (主催/北海道支部)	藤木会長
12月1日(金) 名古屋(主催/中部支部)	藤木会長
12月6日(水) 仙台 (主催/東北支部)	三輪副会長
12月8日(金) 東京 (主催/関東・甲信越支部)	松野副会長
12月8日(金) 岡山 (主催/中国・四国支部)	藤木会長
12月13日(水) 尼崎 (主催/近畿支部)	佐久間グループ長

※参考:2023 年度活動状況

2023年度	2023年度												2024年度										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
SC運営事務局	■4/26 第1回理事会議(2023年度活動計画決定)	■5/19 第1回理事会議(2023年度活動計画決定)	■6/23 第1回理事会議(2023年度活動計画決定)	■6/23 第1回理事会議	■9/25 第2回理事会議	■10/11 第3回理事会議(2023年度活動計画決定)	■10/25 第3回理事会議(2023年度活動計画決定)	■11/14 第3回理事会議	■12/14 第3回理事会議	■1/24~1/28 第4回理事会議(2024年度活動計画)	■2/19 第4回理事会議	■3/7 第4回理事会議(2024年度活動計画)											
幹事会																							
幹事会グループ ブロック長会議																							
例会																							
研鑽・研究グループ																							
業務・広報グループ																							
北東アジアブロック 2/18更新																							
東北ブロック 2/18更新																							
関東・甲信越ブロック 2/18更新																							
中部ブロック 2/18更新																							
近畿ブロック 2/22更新																							
中国・四国ブロック 2/18更新																							
九州・沖縄ブロック 2/21更新																							
各ブロックの行事色分けのキャプション																							